

フラっと

中央市民センターだより

発行 青森市中央市民センター
〒030-0813 青森市松原 1-6-15
TEL 017-734-0163
FAX 017-775-7048



講座レポート1

気象災害と防災 9/4

近年、激しい大雨、勢力の強い台風、竜巻などの突風、夏場の猛暑等による気象災害が増加しています。このような状況を踏まえ危機感を持って防災・減災対策に取り組む必要があるということから、「気象災害と防災」をテーマに、青森気象予報士会の小関英明さんを講師に迎え、60代、70代の男女13人が参加して講座が開催されました。

初めに青森県の気象災害について、雨の降り方が激しくなっていることや今年8月に青森県で初となる線状降水帯が発生したこと、大雨や台風、高潮、発達した積乱雲による災害等事例の説明がありました。さらにその要因についてデータや写真、図等の資料をもとに丁寧な解説がありました。

これらを踏まえ、私たちが活用できる防災のための気象情報にはどのようなものがあるのか、気象台が発表する防災情報をもとに説明がありました。そして、最新の防災気象情報等に留意し、災害への心構えを高めて欲しいということでした。また、「警戒レベルに注意すること、ハザードマップを確認すること」「避難行動について普段からどのように行動するか、家族で話し合っておくこと」が身を守ることに繋がると話されていました。

参加者は、熱心にメモを取りながら、真剣に講師の話に耳を傾けていました。防災のための気象情報の種類が多いので戸惑いましたが、具体的で丁寧な解説で勉強になったとの感想も聞かれました。



講師の説明に耳を傾ける参加者

講座担当者のコーナー

こんな講座を開催しました！！



親子でもOK！

貝殻とシーグラスで素敵なフォトフレームを作ろう！

灯匠亜理子主宰の工藤 勇人さんを講師に迎えて開催しました。

参加者は親子で楽しそうにフォトフレームのデコレーションをしていました。

「子どもと一緒に参加できて良かった」「とても分かり易い説明で、上手く作れました」などの声をいただき、とても好評でした。

ねぶた師の立田龍宝さんを講師に迎え、親子2組を含む7人が参加して、プロから学ぶ金魚ねぶた製作の教室が2日間に渡って開催されました。参加者には、はりがねで作られ電気配線が施された骨組が配付されています。

1日目は紙貼り、2日目は色付けという説明の後、立田さんが実際に貼り方のポイント（ボンドの付け方、紙の貼り方、紙の切り方）を示しながらやってみせました。

続いて、参加者による紙貼りです。立田さんは作業の進み具合に目を配りながら適宜個別に指導をしていました。仕上がりをきれいにさせるため、金魚の後ろ（尾びれ側）から順に4面を貼り、その後正面側の4面を貼って体の出来上がりです。

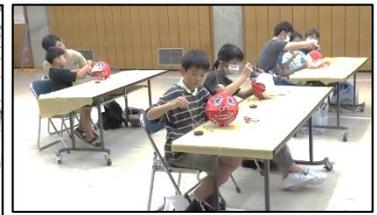
2日目は、墨がきからです。墨がきする前に鉛筆で薄く下書きをします。下書きをなぞって墨がきをするのですが、バランスを考えて鼻、目、えらの順にかくこと、メリハリをつけるために太い線、細い線でかくことを立田さんがやってみせました。参加者は早速下書きし、墨がきしました。続いて口がきです。これも立田さんが手順を示しながらやってみせました。参加者は真剣に取り組んでいました。いよいよ赤い色付けです。参加者は丁寧に筆を動かしていました。最後に仕上げの胸びれ、あぶく、尾びれを付けて完成です。

金魚ねぶたの顔は、作り手に似るということを立てさんから聞き、自分の作品を満足そうに眺めていました。

どの作品も、個性あふれる金魚ねぶたとなりました。



講師の説明を聞く参加者



真剣に色付けする参加者



お勧め講座・イベントのご案内！ (11～12月)

あおもり産品について学ぼう！

開催日： 11月2日(木)
10時00分～11時30分
対象： 18歳以上
講師： あおもり産品支援課
会場： 3階 大会議室
定員： 30人
参加費： 無料
準備物： 筆記用具



和の伝統文化体験～紅白の和紙で作る 祝い飾り・お年玉包み折形水引教室～

開催日： 12月2日(土)
13時00分～15時00分
対象： 18歳以上
講師： 和の伝統文化体験教室「爽華」
代表 森山 孝子
会場： 3階 研修室②
定員： 15人
参加費： 600円
準備物： 筆記用具



編集後記

市民センターでは、にぎやかで楽しそうな声が聞かれるようになりました。市民センターまつりも各市民センターで開催される予定で、コロナ禍以前のように、講座やサークル活動が活発になってきた兆しが見られます。市民の皆様の学習活動が安全・安心に行われるよう今後も努めてまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164 (内線 36)
中央市民センター担当：須藤、横内